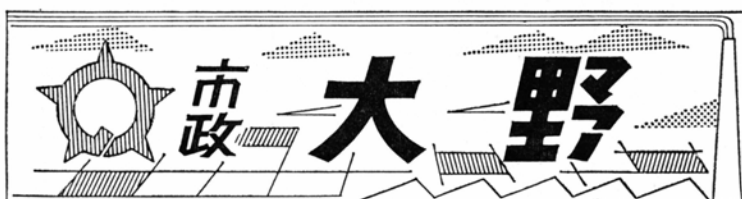


発行
福井県大野市天神町1番1号
大野市役所
(企画室広報係)
電話(代) 6-1111
郵便番号 912
印刷 松浦印刷所



2月の人口の動き

出生	男 24	女 27	計 51
死亡	男 20	女 13	計 33
転入	男 55	女 44	計 99
転出	男 64	女 59	計 123
世帯数	9,947		
人口	43,122		
男	20,670	女	22,452

＝ことしの施政方針＝

生活環境の整備に全力

住民負担の軽減も

3月定例会議が、10日から20日まで開かれ、ことしの市政の大綱である一般および特別会計予算案など30議案はいずれも原案どおり可決・承認されました。

市長は議会のはじめに「生活環境施設の立ち遅れを取り戻し、行政水準を向上させたい」と次のような市政の課題と方針を明らかにしました。
(要旨を掲載)

1、財政再建の推進と

住民負担の軽減

赤字解消を計画的に達成するため、引き続き消費的経費を節減して投資的経費の確保を図り、住みよいまちづくりの建設に努力する。

また、一般財源の自然増に恵まれたこの機会に、市民税の税率を引き下げ住民負担を軽減する。

2、事務を合理化し

市民サービスを向上

職員欠員の補充しない方針のもとに年々ふえる市の事務を合理化して、市民サービスの向上を図る。

- ・ 市役所の機構を改める
- ・ 計算、住民管理事務などは、コンピ

ューター(電子計算機)を利用する。

- ・ 職員研修を強化する。

3、広域的な地域開発を促進

市民の日常生活の範囲が市の区域をこえて広がる反面、これに伴う生活環境施設の整備が遅れている。

市民の期待にこたえて、道路や衛生施設を効果的に整えるため、勝山市、和泉村とともに広域的な開発をすすめたい。

4、総合農政への転換

米の生産調整は、水稲単作地帯の当市にとって大きな問題である。今後、国・県の施策と合わせ、農業団体とも密接な連絡をとりながら農業構造の改善、畜産・特産の振興、生産流通の近代化を主とした地域農業振興計画を早急に立て、経

営の近代化と安定につとめたい。

また、農業近代化対策と合わせ企業誘致を推進するなど農外所得の増加に努力したい。

5、過疎対策の推進

山村地域の過疎現象は著しく、平和な生活が続いた村が廃きよとなる姿は、時代の波とはいえ心痛の思いである。

これらの地域については、道路・交通や生産基盤などを計画的に整備し、地域住民の福祉向上と平和な生活維持に全力を傾注する。

6、まちづくりを強力に推進

- ① 公共施設を効率的に整備するため、計画的に用地の先行取得を行なう。
- ② 人口の市街地集中が激しい。無秩序な町の広がり、生活環境を悪くするので、農業振興計画と都市計画との調和した土地利用計画を早急に樹立したい。
- ③ 今後のまちづくりに重要なことは、水資源の確保と系統だった排水である。

このため真名川ダム建設で生ずる余裕水量は、地元還元を要望し、生活・農業・工業用水の確保を図っていききたい。

また、今後の上水道計画に備え、水資源の確保、用排水、下水路等の総合的な整備計画を樹立したい。

市民あげて まちづくり

「あすを開く推進者のつどい」は3月24日市役所で関係者約200名が出席して開かれた。実践活動の発表や建設的な話し合いがあり、「1970年代の課題」と題して東京女子大学教授伊藤善市氏の講演を聞いた。

青年会議所の伊藤武治さんは、「雪が降るのは自然現象だが、雪害は今や社会現象である。雪を利用した昔の農業や織物業などの産業構造も変わり生

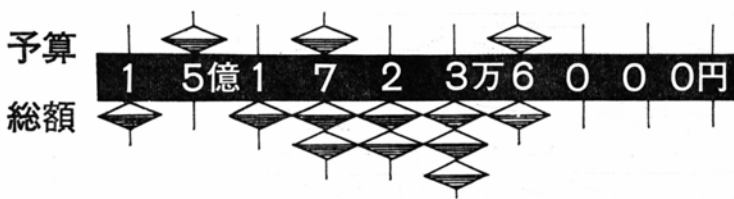


実践発表を聞く参加者

活も都市化してきた。市民あげて雪を克服しなければ、過疎防止、大野市の発展はあり得ない」と調査をもとに実践活動を発表し、注目された。

岸本監査委員ら再任

監査委員に岸本達也氏(七坂)、固定資産評価審査委員に正津一夫氏(中保)を選任、および人権よう護委員候補者として石田伊太郎氏(泉町)を推せんすることの議会の同意を得ました。



昭和45年度一般会計予算は、12億2,005万5,000円、6特別会計予算が2億9,718万1,000円、予算総額は44年度当初予算より2.75%増の15億1,723万6,000円です。ことしの予算は、次の5点を柱とし、財政再建のため市民サービスが低下しないように編成してあります

重点項目

- 1、市民の税負担の軽減
 - 2、まちづくりの基盤、特に道路の改良舗装と排水路の整備
 - 3、調和のとれた産業の振興
 - 4、教育の振興
 - 5、生活環境の整備と福祉の向上
- 予算に組まれた主な事業は次のとおりです。(万未満切り捨て)

土 木 道路の舗装
 村部に着手

道路の改良・舗装は、碓線ほか13線で5,557万円を計上、舗装延長は約7,000m。ことしから村部の舗装に着手します。道路や橋の維持・修繕に1,265万円。除雪グレーダー1台の購入費550万円。交通安全対策として、七間線歩道新設中津川の踏切改良などの費用256万円。河川や都市排水路の改修費2,050万円。下鹿線の県道編入準備、県道宝慶寺・松ヶ谷線の改修負担金、亀山公園の整備計画に320万円を計上してあります。

農 林 業 稲作転換対
 策費も計上

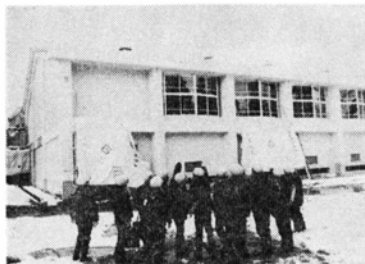
農業生産の基盤整備のため、構造改善事業補助939万円、土地改良事業補助729万円、排水路、農道の整備に400万円。特に稲作転換対策費として、そ菜の集団産地の育成と生産物の加工等補助金に263万円、家畜振興補助金39万円。経営近代化のためには、農業総合推進費を主に155万円、農業近代化資金利子補給に90万円を計上してあります。林業関係では、過疎対策もあわせて考え、黒谷・河内林道1,000mの開設費と既設林道の維持補修に1,228万円、入会林野整備事業135ha分54万円を計上。また、林業振興と経営近代化のため、林業

労務者の共済加入補助50万円。チェーンソー13台、工業用炭がま10基、おうれん生産などの補助、計123万円と病害虫防除費49万円を計上。造林事業として新植5ha、雪起こし、下刈りの費用367ha分644万円を計上してあります。

商 工 金融対策に重点

商工業の振興対策は、金融対策に重点をおき、金融機関に1,100万円を預託、近代化のため融資します。また、商工業近代化貸付金5,000万円に対する利子補給として120万円。工場誘致奨励金など商工振興費には165万円。観光面では、城まつりに50万円、仏御前の滝遊歩道工事など30万円、観光パンフレット作製費など合計140万円です。

教 育 生徒用机を
 計画的に更新



継続工事を行なう下庄小講堂

学校施設の整備費として、下庄小学校講堂の継続工事、小山小中学校プール建設に2,155万円を計上。教育内容の充実には、教材備品、教育消耗品を主に1,467万円をあて、父兄負担の軽減を配慮。この中には石油ストーブ105台分210万円と、中学3年生840人分の机更新費290万円を計上、今後も計画的に更新する方針。社会教育面では、講座・学級の開設費文化活動助成のために246万円、青年団



予算案の概要を説明する市長

婦人会の活動補助25万円、新しいまちづくり運動推進費50万円を計上。体育振興面では、競技会の開催費、選手派遣費、体育団体助成費に計180万円を計上してあります。

福 祉 保育所を充実
 保母4名増員

小中学生の就学援助費293万円。重症心身障害者手当78万円、合同慰霊祭と福祉団体補助74万円を計上。児童福祉費では、保育所の備品購入、施設の改修に88万円、市民の強い要望におこたえて、3歳未満児を多く収容するため、保母4名を増員。老人福祉対策費は、老人クラブ、ねたきり老人の寝具補助、老人健康診断、敬老会など、計150万円です。

保 健 霊場建設に
 3,501万円

各種伝染病、結核の予防費に562万円、勝山市と共同使用が決まった隔離病舎負担金に98万円を計上。清掃費には1,243万円を計上、ゴミと危険物を円滑に収集します。

また、懸案の火葬場建設費は、3,501万円を計上、本年度完成の予定です。

その他し尿処理場の増設のため、設計委託料152万円をみています。

消 防 施設を充実

打込式消火栓55万円、小型動力ポンプ2台分66万円、ホースその他の防火用具に40万円など、消防施設費に359万円を計上してあります。その他事務改善のため、事務の一部を電算センターへ委託する費用が主なもの。

歳入は堅実に見積る

歳入は、今後の景気見通し、昨年度の実績などから堅実に見積っています。

一般会計では、市民税が1億1,810万3,000円、固定資産税2億1,722万3,000円、たばこ消費税4,665万4,000円、電気ガス税3,605万4,000円など市税4億4,369万1,000円。地方交付税2億9,553万1,000円、国庫支出金1億1,634万4,000円。県支出金4,285万8,000円。自動車取得税交付

金2,494万4,000円が主なものです。

特別会計予算 (単位千円)

会 計 名	予 算 額
国民健康保険事業	250.765
五 箇 診 療 所	1,853
簡 易 水 道 事 業	16.533
食肉処理場事業	4.074
南部七地区画整理事業	22.279
公団分収造林事業	1.677

により、昭和45年度以降入学児童の見込みがなく、学校設置の必要なくなったためです。

宝慶寺小学校は、明治7年創立で96年の歴史を、また嵐分校は、「明治11年に冬季分教場を開く」の記録があり、分校になったのは昭和21年、通算92年の校史を終えます。

財政再建1カ年短縮

3億4,918万4,000円の赤字を、昭和42年度から8カ年で解消する計画でしたが1カ年短縮できることになりました。

3月議会で承認を得た変更計画は、最終の49年度に予定していた1,056万9,000円を昭和44年度で繰上げ解消する内容です。この結果、44年度の解消額は、3,656万9,000円となりました。

44年度予算総額は

18億173万4,000円

3月議会で、昭和44年度一般・特別会計補正予算案も議決されました。

この結果一般会計予算は、6,291万9,000円を追加し、14億8,245万9,000円に、6特別会計予算の合計額は、3億1,927万5,000円となりました。

市民税1,000万円を減税

大野市税賦課徴収条例の一部が改正され、本年度から個人市民税が安くなります。従来の税率は、標準税率の1.3倍、これを1.2倍に下げ、課税標準額15万円以下の所得に対しては、いっきに標準税率に引き下げ、特に低所得者層の軽減を図りました。

なお、これら税率引き下げによる減税額は、約1,000万円になります。

市長は、施政方針演説の中で、「今後と

4月1日で廃校になる宝慶寺小学校



一番多い胃ガン 早期治療が大切

ガンの多い順位は下表のとおりです。1位の胃ガンで死ぬ人は、人口10万人に対して1年間に、男59.5人、女35.4人です。特に40歳からは「ガン年令にはいる」と言われています。

早期発見、早期治療は、ガン防止の最も大切なことです。胃の検査をご希望の方は、保険衛生課へお申し込みください。

順位 性別	1	2	3	4	5
男	胃	肝臓・胆嚢	肺	食道・口腔	腸
女	胃	子宮	肝臓 胆嚢	乳 房	肺

も財政状況を考えながら、計画的に税率引き下げを行ないたい」と述べました。

◎ 課税標準額15万円以下の例

扶養者が、妻と子ども2人の場合、所得がおおよそ45~60万円の人。(生命・社会保険料などの控除額の多少によって異なります。)

宝慶寺小・嵐分校が廃校

宝慶寺小学校、打波小学校嵐分校を4月1日から廃校とすることに決定されました。

これは、宝慶寺・嵐両部落の人口減少

国では、米の過剰問題を解決するため昭和45年度産米を100万t以上減産、大野市でも1,243.3t(20,723俵)、面積269.6ha以上を減らすこととなりました。

市の減産状況は、関係者のご協力のもとに、すでに農家別の目標を各部落で調整願って、近く実践に移されます。

生産調整は農家の自主的なご協力により実施されるものですが、この指導や推進は、市内の農業関係機関・団体が一体となってお相談に応じます。

生産調整補助金は、昭和44年に作付けした水田、45年に作付け可能となった開田で、ことし米を作らない場合に交付され、休耕、作付転換の場合も変わりません。

作付転換が困難な所は休耕してもらいますが、休耕すると、地力の低下、ウンカやカメムシの生息源となり他へ被害を

およぼします。

休耕地は荒らさないようにしてください

なお、この補助金の算出は、調整水田の面積×44年産米の農業共済の反当基準収穫量×81円(Kg当り)。手続きは各農家から調整実施計画と補助金申請書が市長に提出されたあと、区長・農家組合長さんの協力を得て、事実と相違ないか確かめます。

近代的な農業へ

政府は総合農政を打ち出して、近代農業の育成を目ざしています。当市の場合も、この作付転換を契機として地域に適した野さい、畜産の集団産地づくりを考えています。

今後は、生産基盤の整備、集団組織づくりなど、機械化された近代農業へ進むことが必要です。明るい希望をもって努力しましょう。

米の生産調整に

ご協力ください

市街地のゴミ収集 週 2 回 に

特別清掃区域のゴミ収集は、4月13日から週2回になります。

町内ごとの収集日は、昨年と同様です
〈お願い〉

- 1、祝祭日は収集を休みます。次の収集日まで持ち出さないでください。
- 2、収集日には、必ず袋詰め・箱詰め

春の交通安全運動

4月1日～30日

かわいい1年生と老人を交通事故から守りましょう。



野犬は危険……全市民で 絶滅しよう

市内には約 800頭の野犬がいると推定されます。野犬が幼児をかみ殺した丸岡町の事故を教訓として、市民こぞって野犬絶滅に努力しましょう。

注意事項 放し飼いをやめる。犬を捨てない。不用犬は保健所へ。幼児のひとり遊びをさける。野犬がりに協力する。登録と狂犬病予防注射を受けさせる。

市民会館は月曜が休み

市民会館の休館日は、4月1日から月曜日になります。従って、利用度の高い日曜日は、平常の勤務を行ないますからせいぜいご利用ください。すでに申し込まれた日が、月曜日の場合は開館します。

にして午前8時までにお出しください。

危険物収集は月1回

村部の危険物収集は、偶数月を定期収集とし、奇数月は、各公民館長の要請により実施します。

4・5月の日程は、

- 乾側・小山・下庄地区は、4月が1日、5月が13日。
- 上庄地区は、4月が8日、5月が20日。富田地区は、4月が15日、5月が27日。
- 阪谷・五箇地区は、4月が22日、5月分として6月3日。

古い教科書を お持ちの方は？

昭和47年が教育制度 100年記念になるのを機会に、郷土歴史館では古い教科書や副読本を集めています。

古い教科書、特に昭和20年前後のものがありましたら寄付してください。

あけぼの保育所 入所児童を募集

錦町誓念寺で4月1日から開設される「社会福祉法人あけぼの保育所」が、入所児童を募集しています。

定員は60人。3歳未満児30人以上を優先し、あと3歳以上児を収容します。

申込期間 4月1日から20日まで

申込先 市役所内福祉事務所

保育料 市立保育所と同額です。

入所基準は、本紙12月号、または福祉事務所でお尋ねください。

3月16日宝慶寺小学校最後の卒業式が行なわれた。

卒業生は大井雄次君ただひとり。見送る在校生もいない。式は、担任の篠田先生が進行、大谷校長から 320番目の卒業証書が大井君に渡された。

宝慶寺部落は過疎化がすすみ、新入学児童はひとりもなく、4月1日で廃校になる。



〔最後の卒業式〕
卒業証書を受ける大井君

ご利用ください

商工業近代化資金

市では、商工業者の方に設備の近代化、店舗改装の資金や、共同事業のための融資を次のように実施しています。

- 1、商工業近代化資金(1年据置2年償還)
- 2、商店設備近代化資金(〃)
- 3、共同事業資金(融資年度末一時償還)

この制度をご利用の方に、1年間の利子補給を行ないます。

この申し込みと問い合わせは、大野商工会議所または市役所商工観光課へ

スマイル

「ヤセル思い」

太った方ご利用ください

— 動く歩道
— ジェット・コースター



暑さ寒さも彼岸まで、彼岸過ぎても麦のこえ(肥)と昔からことわざにもいわれているが、どうもことは春がきたなくたしかに異常天候が続いている。もはやお米の裏作としての麦を作る農家もないので、ひと昔の「雪ぐされ」の心配はなくなった。が雪の被害はまぬがれようもない現状だ。いまはやりの「ダブつくお米」がとれなくてもというふうな冗談はいつておられない。▼い つまでも去らない冬將軍をみていると、巨大なシベリヤ大寒気団の周期的な発生や、その他気象条件をまだ解明するだけの科学のキメ手もない。それらと思うと、いまさら大自然の偉大さが身にしみる。しかしだからといって自然の暴威に身をまかせているわけにもいかない。ただでさえ過疎と過密の激しい表・裏日本においてである。▼去る三月二十二日夜のNHKテレビのドキュメンタリー番組「豪雪地帯を行く」のように、新潟県入道村の三月下旬現在三メートルの豪雪をみて、他人ごとのようにには思えない。それも例年のようである。それでも三千世帯の村民は傾斜しつつある村を守るのに必死の努力を続けている。道路を作り冬もスクールバスを走らせたり、東京から工場を誘致したり、豪雪センターを作ったりの姿にはわが大野市と似かよう血脈さえ感じさせる。▼いま尻さがりの農村ムードを安易に考えたりして、これ以上の過疎現象を進めてはならない。むしろこういう時にこそ真剣に郷土建設の青写真を作るべきである。七〇年代を生きるシンボルを、万博のお祭りムードの一面倒であつてもならないし、人類の進歩と調和を過密地帯へさらに拍車をかけるだけの政治や住民意識であつてもいけない。待ち遠しかった春を迎えてすっかりと大地を踏みしめた。